

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1 階

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

開館：月曜～金曜 10 時～17 時



《愛知県被災者支援センター》

愛知県東大手庁舎の 1 階にあります。

愛知県庁や名古屋市役所に近く、名古屋城
やテレビ塔も徒歩圏内に位置しています。

ぜひ、お気軽にお越しください。

《もくじ》

Day to Day わたしたちの今。ふるさとの今・・・2

あおぞらカフェ

アロマハンドトリートメント体験会・・・3

100 号記念

センターのこれまでと現在・・・4

100 号記念

あおぞらに関わって・・・5

11 月イベント情報・・・6

防災情報アプリの紹介・・・6



Day to Day

わたしたちの今。ふるさとの今。

山里暮らしも早5年生！

震災を経験して価値観がひっくり返った私たち夫婦が出した一つの答え。空気と水のきれいなところで安心して子育てしよう！を実践し始めて、早いもので4年半が過ぎました。震災は私達から未来の全てを奪ったと思っていましたが、全く現実は違いました。田舎に来てから、本当に大切な仲間ができました。

私は田舎の仲間に頼まれて合唱を教えています。家族全員でいつも練習に参加しますが、この合唱団は練習前にみんなで持ち寄りご飯をワイワイ食べるのが日常。とても美味しく楽しく、自分らしくいてもいいのだと思わせてくれるとても温かい空間です。もしかしたらこの団らのほうがメインなのでは？と思うこともしばしばありますが、みんなで歌い始めてこちら4年半以上が過ぎ、合唱のレベルも少しずつ向上しています。

豊田のいなかとまちの両方で色んなイベントに呼んでいただき、特に秋は大忙しなのですが、聴いてくださるお客様から「みんなとても楽しそうに歌うし聴いているだけではつまらないから、いよいよ『こだま』に入ろうかな」と言うお言葉をいただくと、とても嬉しく思います。

この「こだま」と言う合唱団、「来るもの拒まず 去る者追わず 去った者に時々心を寄せる」なんとも居心地のいい、温かい合唱団です。

来てくれる人にアウェイ感を感じさせない、誰にとっても居場所になるような場所で、みんながそれを自然に作り出しているのがとても素晴らしいと感じています。

震災以降、「繋がり」がとても大切だと感じているので、何かあっても大丈夫と思える今が、とてもありがたいです。毎日子育てに、歌手としての活動に、主婦にバタバタの毎日ですが、1日1日を大切に暮らしていきたいと思います。

竹内 支保子



▲竹水鉄砲で遊ぶ子どもたち



▲イベントで演奏する「こだま」

アロマハンドトリートメントのマッサージ体験が、8月20日に愛知県被災者支援センター内で開催されました。アロマオイルを使用して、肘から指先までをマッサージする方法を教わりながら、参加者同士でマッサージし合いました。参加者お2人の感想を載せています。

あおぞらカフェでの「アロマハンドトリートメント体験会」に参加しました。

アロマの香りのこと、トリートメントの効果など、かなり本格的に教えてもらえて、トリートメントの基礎を何度も何度も練習したので、家に帰ってからすぐに家族にやってあげることができました。

アロマオイルでのトリートメントは、どんどん肌や内臓に染み込んで行くのが分かりました。最近重く感じていた背中も軽くなって、体がスッキリしました。

参加者でお互いに練習しながらのトリートメントは、楽しくおしゃべりしながらで、心も軽くなりました。

トリートメントも、会話も、ゆっくり。ゆっくり。あっという間の時間でしたが、ホッとできる空間、時間に癒されました。

丁寧に教えてもらい、感謝しています。ありがとうございました。

(ペンネーム 笑顔ポテト)



8月20日に支援センターでアロマハンドトリートメント体験会が開催され、ワクワクしながら参加させていただきました。

今回はオレンジスイート&ラベンダーオイルを準備してきましたとの講師の鈴村さんからの説明でした。オレンジの香りは心を温かくする効果があるそうです。二人一組になって相手の方の腕にやさしくまんべんなく塗っていったつもりでしたが、オイルの量が少ないと塗っている手先が刺さるような感じになったのには少し驚きました。たぶん指の先にばかりに力が入っていたからではなかったのかと反省しました。肘や手のひらのツボを押して凝りをほぐし、仕上げにタオル

で優しく包み込むとゆっくりとアロマオイルが入り込んで行くようです。

初めての為、何ともぎこちない手運びでしたが、家族や友人たちと他愛のない会話をしながらお互いにマッサージを出来るようになれば、もっと心の繋がりが深まるのではないかと思います。あるいはこんなところにこそこのマッサージの狙いがあるのかもしれませんが。楽しいお喋りと美味しいハーブティーありがとうございました。

あおぞらカフェでまた何か楽しい企画があればぜひ参加させていただきたいと思います。

(伊藤 敦子)

「愛知県被災者支援センターってどんな組織なの？」という声もあり、改めてご紹介いたします。

◆行政と民間 NPO 法人が共に活動

当センターは、2011 年 6 月に愛知県が設置し、運営を災害支援のノウハウを持つ NPO 法人に委託しています。そのため、愛知県内や避難元の自治体職員だけではなく、幅広い方々と協力して活動することができています。

例えば、個別訪問では保健師や外国人支援団体、交流相談会では社会福祉協議会、生活協同組合、市民活動団体、医療従事者、臨床心理士、弁護士、司法書士、キャリアコンサルタントなど。また、定期便は、ボランティアといっしょに封入作業を行っています。

《まめ知識》

1995 年の阪神・淡路大震災では、ボランティア活動の重要性が国民に広く認識されました。それにより愛知県では、災害発生時のボランティアの受け入れ体制についての整備を進め、2000 年の東海豪雨災害で、初めて官設民営組織による支援活動が行われました。

◆特技や経験を活かした取り組み

避難されてきた皆さんのこれまでの人生で培（つちか）われてきた特技や経験を活かしていただいています。

交流会では、実行委員として企画から携わられたり、リラックスコーナーやお楽しみコーナー、昼食作りなどで、多くの方が活躍されてきました。本紙「あおぞら」では、寄稿していただいたり、編集委員として掲載内容を考えていただいています。

また、学校等から「被災や避難の経験を伝えて欲しい」といった講演依頼に、ご協力をお願いすることもあります。

◆いろんな交流会や交流相談会

当センターでは、日頃の疲れを癒してゆっくり交流や相談をしていただく全体交流会（2013～2015 年度）、「これからの暮らしをいっしょに考えよう」と題した交流相談会（2016 年度）など、その時々に応じた集いを企画してきました。2017 年度以降は、愛知県民主医療機関連合会と共催で「甲状腺エコー検診＆交流相談会」を実施しています。

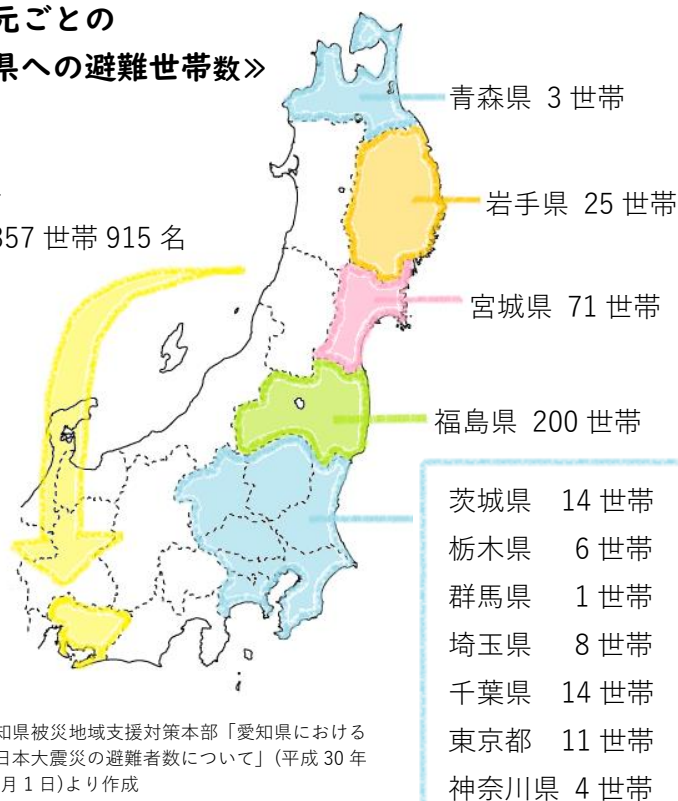
他にも、「懐かしい地元話をしたい」などのお声から、岩手県・宮城県と福島県のそれぞれを対象にした交流会を開いています。また、名古屋市や小牧市、田原市などでは、どなたでも参加できる交流会が開催されています。

最近でも、「初」参加という方もいらっしゃいますので、ぜひお気軽にご参加ください。

《避難元ごとの 愛知県への避難世帯数》

愛知県へ

合計 357 世帯 915 名



参考：愛知県被災地域支援対策本部「愛知県における東日本大震災の避難者数について」（平成 30 年 10 月 1 日）より作成

これまで編集委員として活動されてきた皆さまからコメントをいただきました。

あおぞら第 100 号！

震災以降、変わらず避難者の私達に寄り添ってくださり本当にありがとうございます。

もう 100 号、まだ 100 号。震災からいくらか時間が経っても、まだまだ問題は山積みだと感じています。私達は生きているので少しでも前に進みながら子ども達に未来を手渡して行きたいと感じている今日この頃です。

私は今 3 人の子ども達の育児真っ只中ですが、第二子は震災の年に生まれました。第三子は田舎で子育てをしようと、田舎に移住をしてから授かりました。震災のことを知っているのは第一子ですが、私達が子どもに伝えられる大切なことをしっかり伝えながら日々過ごしていきたいです。

「あおぞら」は、ふとした時に孤独を感じてしまう私にとって、寄り添ってくれる大切な存在です。以前は編集委員を務めさせていただき微力ながらお手伝いできていましたが、田舎に移住をしてからなかなか編集委員会に出向くことができず、もっぱら読者専門になっています。それでもいつも届くのが楽しみなものには変わりなく、これからも読ませていただければと感じています。 (竹内 支保子)

「あおぞら」100 号発行おめでとうございます。編集に関わり出会えた皆様の存在が非常に心強く私のたからものです。今でも何が正しいかわかりませんが 3.11 から「あおぞら」は、みんなをつなぐ大切な役目があります。ずうっと読みますね。 (小松 恵利子)

『あおぞら』の歴史＝東日本大震災の歴史。そう思うと複雑な気持ちになりますが、編集会議で、思いを共感できる他の避難者と出会えたことが、うつ病寸前だった私を救ってくれました。出会いのキッカケになった『あおぞら』に、そして支えて下さった皆様に感謝しています。 (Y.Y)

「あおぞら」が 100 回記念号ということで、おめでとうございます！

一時期編集委員でお手伝いしていた時は何号だったかなと思い返しました。娘が小学生の時にお手伝いしていたので、今は高校生となったということは 5～6 年前なのではないでしょうか？ 月日が流れるのは早いですね。

「あおぞら」を通してたくさんの方たちと関わり、避難してきて不安な気持ちなどを解消させてもらっていたと思います。定期的に届く「あおぞら」がこれからも皆さんを繋いでいきますように応援しています。 (M.M)

《あおぞら編集委員》

編集会議は、掲載内容を決めたり、記事を書いたりするだけではありません。日々の暮らしや関心事など、話題に富んだ情報交換の場にもなっています。興味のある方はお問い合わせください。

問合せ先 メールフォーム

●TEL：052-954-6722

●E-mail：aozora@aichi-shien.net



11月イベント情報



空高く空気の澄んだこの季節。読書の秋、スポーツの秋、
食欲の秋、行楽の秋。どんな過ごし方が好きですか？

開催日	イベント名	内容	最寄駅
25 日(日)	ふくしま交流会 ※9月30日開催予定が、台風のため延期	福島県から避難されてきた方を対象。相談だけでなく、抹茶やアロマ ハンドトリートメントもあり！	JR・名鉄「豊橋」 豊橋鉄道「新豊橋」

※イベントの一部を掲載しています。その他のイベントや申込先などの詳細は、同封（前月号に同封している場合もあります）のチラシをご覧ください。

防災情報アプリの紹介

名古屋市防災アプリ

- ★地図上に地震・津波・洪水等の被害想定や避難場所、帰宅困難支援ステーションが表示されます。
- ★現在地の地図とカメラ映像（合成）が表示されるため、外出中でもどこへ避難したらよいかわかります。



iPhone 利用者



Android 利用者

Yahoo!防災速報



- ★地震・津波・洪水・豪雨・熱中症・火山・国民保護情報（Jアラート）等の速報が通知されます。
- ★災害の種類ごとに対応している避難場所の検索ができ、検索結果は地図上にも表示されます。



iPhone 利用者



Android 利用者

※iPhone は Apple Inc.の商標です。 ※Android は Google LLC.の商標です。 ※Yahoo!は米国 Oath Inc.の商標です。

編集後記



- ・受験生が2人いるのですが娘の大学受験が、いよいよ迫って来ました。年明けは高校受験も本格化するので気が気ではなくなって来ました。(Y.S)
- ・6月からすっかり短歌に凝っています。100日が経って200首ほど作りました。特に旭（豊田市の山間地）に行くと調子が良い。それを「旭歌壇」といいます。(H.T)
- ・台風や豪雨災害の多発で各地に大きな被害が。国連のSDGs（持続可能な開発目標）の17の目標 ⑬気候変動に具体的な対策を ⑪住み続けられるまちづくりを 早急な実現を!! (K.T)
- ・名駅周辺だけでなく、金山や栄、名古屋港でも再開発が進んでいます。これからどんな街に変わっていくのでしょうか。(H.S)